

ポイント-3： 災害に強い都市を支える交通

◆災害に強い交通インフラの構築

近い将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震や、近年増加している集中豪雨などの災害に対応するため、「強さ」と「しなやかさ」を持ったインフラの構築を進めます。

【道路施設の耐震性強化】

地震発生後に緊急車両が確実に通行できるよう、広域緊急交通路の橋梁の耐震性強化を図ります。平成32年度末までに、広域緊急交通路の耐震対策完了を目指します。
(広域緊急交通路のうち重点14路線や大阪モノレールは対策完了)



橋脚の補強



落橋防止対策

<平成29年度の事業箇所>

国道170号 積川大橋（岸和田市）、国道173号 東ヶ谷大橋（能勢町）など

【鉄道施設の耐震性強化】

鉄道利用者などの安全確保、および鉄道と交差・近接する広域緊急交通路などの機能確保のため、鉄道事業者が実施する耐震補強事業に補助を行います。



鉄道駅耐震補強の状況



道路と鉄道が交差する箇所の耐震補強状況

<平成29年度の補助事業箇所>

- | | | | |
|------------|----------------|---------|-------|
| ・ 阪急宝塚線 | 十三駅～三国駅 | ・ 阪神本線 | 千船駅 |
| ・ 近鉄けいはんな線 | 吉田駅～新石切駅 | ・ 近鉄奈良線 | 八戸ノ里駅 |
| ・ 北大阪急行線 | 緑地公園駅～桃山台駅 | | |
| ・ 南海空港線 | 泉佐野駅～りんくうタウン駅 | | |
| ・ 新関空連絡線 | りんくうタウン駅～関西空港駅 | | など |

【道路の無電柱化】（※再掲）

安全で快適な歩行空間の形成、良好な景観の保全と形成、都市防災の向上を図るため、電線共同溝を整備し、道路上の既存の電線類を地中化するなど、道路の無電柱化を推進します。

【道路施設の防災対策】

近年増加している集中豪雨や、南海トラフ巨大地震による津波などの災害に対応するための対策を実施します。



落石・法面崩壊防止対策



道路情報提供装置



津波注意喚起看板

<平成29年度の事業箇所>

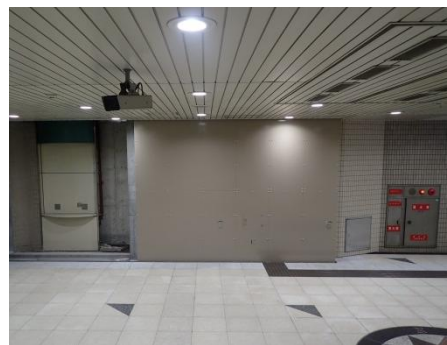
国道423号（池田市） 、府道 茨木能勢線（箕面市）
国道310号（河内長野市） 、国道371号（河内長野市） など

【鉄道施設の防災対策（地下駅の浸水対策）】

鉄道利用者の安全確保のため、巨大地震発生時に津波などによる浸水被害が想定される地下駅や地下トンネルの出入口において、鉄道事業者が実施する止水扉の設置などの浸水対策を支援します。



止水扉の設置状況
阪神本線 福島駅（南出入口）



止水扉の設置状況
阪神本線 福島駅（東出入口）

<平成29年度の主な補助事業箇所>

阪神本線 福島駅